

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	呑龍ポンプ場	階数	地上3F
建設地	京都府長岡京市勝竜寺樋ノ口1番地	構造	RC造
用途地域	工業地域、用途地域無し、法22条区	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	800時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2018年6月7日
敷地面積	181,503 m <sup>2</sup>	作成者	鹿谷健介
建築面積	1,755 m <sup>2</sup>	確認日	2018年6月7日
延床面積	2,893 m <sup>2</sup>	確認者	鹿谷健介

外観/パース等  
 写真等提出の際は  
 シー・1の保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.4** ★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%  
 ②建築物の取組み: 109%  
 ③上記+②以外の: 109%  
 ④上記+: 109%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 1.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 1.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
「呑龍ポンプ場」は、「桂川右岸流域下水道雨水対策事業」の一環として、雨天時に雨水幹線へ流入してきた雨水を一時的に貯留し、桂川へ放水する機能を有する施設である。	洪水災害対策に関しては、公表されているハザードマップにおいて、当該敷地は浸水区域内に該当するため、浸水想定レベル(+17.430m)以上を1階床面として浸水対策を図るものとした。
<b>Q1 室内環境</b> 各室の用途及び規模は、プラント設備を基にした必要面積に加えて点検通路等を考慮した適正規模を計画した。	<b>Q2 サービス性能</b> 簡潔な維持管理及び搬入動線を確保するものとした。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特に無し。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特に無し。
<b>LR1 エネルギー</b> 特に無し。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 耐久耐候性材料の使用による補修費の軽減などを心掛けた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される